

## ＜第4回 前林地域会議 会議録＞

日時 令和5年8月18日(木) 19:00～20:30  
場所 前林交流館 多目的ホール  
出席者 委員 15名  
市役所 太田市長、都築副部長、今村主幹、野依課長、中川室長、  
事務局 成瀬支所長、吉澤副支所長、天野担当長、山本主査、  
山口書記  
オブザーバー 石川市議、佐野交流館長

---

### 1 会長あいさつ〈省略〉

### 2 市長あいさつ〈省略〉

### 3 諮問(第9次豊田市総合計画)

- ・諮問書受渡し
- ・諮問内容説明(企画制作部)〈省略〉
- ・質疑応答及び意見交換

#### 委員からの意見

「ミライ構想の方向性」の横断的な目標で「こども」を挙げているが、ここでいう「こども」とは年齢的なこどもなのか、その場合は何歳から何歳までを「こども」と言っているのか。自分から見れば30歳でも「こども」だが、ここでいう「こども」の対象になるのか。

#### ⇒企画課より回答

幅広い概念で「こども」と捉えている。

#### 市長より補足

社会人になる前(自立して生活ができるようになる前)を「こども」と捉えている。

#### 委員からの意見

「こども」というのは、現時点でのこどもなのか。そのこども達が5年後10年後に育っていく過程を踏まえて計画を策定していきたいということなのか。

#### 市長より回答

今のこども達が成長していくなかで、どういう状況が待ち受けているのか、また、それに向けてどういう社会環境を整備しなければならないのかがわからない。だが、それはとても重要なことで、あえてここで「こども」という視点をもつことで、将来に向けてすべきことを議論していきたい。

**委員からの意見**

若者に対して魅力あるまちづくりが基本となると思うが、豊田市の人口が減少していく現在の状況に対し、どういう対策をとっていくのか。

**市長より回答**

豊田市は日本人の人口が減り始めている。地価が高いために若い人たちが市外に出ていってしまうので、「駅ちか居住誘導エリア」として鉄道の駅を活かし、車を持たずに宅地の面積を狭くするという宅地政策もあるのではないかと考えている。また、今はマッチングアプリで遠くの人と知り合い、結婚して豊田市を離れてしまう人も多い。それを引き留めるだけの豊田市の魅力を見つけていかなければならないと感じている。

**委員からの意見**

資料の中にカタカナを多く使っていて、正しい意味を捉えにくい。漢字を使った方が理解しやすいと感じた。

**市長より回答**

行政用語ですぐにカタカナを使ってしまうのは悪い癖だと思うので、気を付けていく。

**委員からの意見**

これからの時代にチャレンジや成長が本当に適しているのか。豊田市はもう十分に成長していると思うので、どちらかという「成熟」が適しているのではないか。今後高齢化も進む中で、生活環境に満足できる成熟した社会を目指していくべきではないか。

**市長より回答**

貴重な意見として検討していく。「成長」もいろいろな捉え方があり、一人ひとりの市民が「暮らし楽しむまち・とよた」にするためには様々な場面で成長する必要があると思い、「成長」としている。

**委員からの意見**

裏面の都市構造のイメージにグラデーションという考え方を取り入れ、柔軟性をもって考えてはどうか。

**市長より回答**

もっと単純に考えてもよいと思う。都市構造に人材拠点を落とし込むことも必要ではないかと考えている。

**委員からの意見**

人材拠点の話が出たが、豊田市は広く、支所がいくつもあるので予算や権限をもっと支所に持たせてはどうか。

#### 市長より回答

豊田市は都市内分権を導入しているので、財源はおおもとの所管課になるが、支所長はかなりの権限を持っている。地域から提案等あれば、是非支所に相談してみしてほしい。

#### 委員からの意見

都市構造のイメージに拠点として黄色が 2 枠と緑が 1 枠あるが、この 3 つの拠点は何かイメージしているのか。

#### 市長より回答

モノや機能を拠点で充実させていこうという方向性を示している。人材拠点をこの都市機能のイメージ図におとしこんでいくのが難しく、このような形になっている。

## 4 報告事項

- (1) 地域会議スケジュール〈省略〉
- (2) 次期地域会議委員の選考について
  - ・事務局より次期地域会議委員選考について説明